

京丹後市夢まち創り大学 同志社大学 京丹後移住促進プロジェクト ～「寄って たかって たいざ」開催について～

令和4年12月9日
京丹後市

本市では、京丹後市夢まち創り大学事業として、参画大学と連携し市内各地域で大学生の地域活動の取組を支援しています。

参画大学の一つ、同志社大学のプロジェクト科目「京丹後移住促進プロジェクト～新たな地方移住の仕組みづくり～」では、京丹後市丹後町間人（たいざ）地区への移住促進につながる、新たな地方移住の仕組みづくりに向けたプロジェクトに取り組んでいます。今年度は「人づくり」をテーマに、地域の方と協力しながら活動を行っております。

取り組みの一環として、まるっぽ間人プロジェクト推進協議会と連携し、7月のワークショップでは、地域を内側から盛り上げるために、地域住民とイベントを企画し、10月には実際に企画したウォークラリーイベントを実施しました。

この度、12月11日に移住に向けての新たなステップとして、地域住民の方に移住に目を向けてもらうための具体的な移住者像や地域の将来像などを考えるワークショップ『寄って たかって たいざ』を開催しますのでお知らせします。

間人地区の10年後までのありたい姿を段階的に想像し、それぞれの段階の間人に魅力を感じる移住者像を検討する予定です。学生はファシリテーターとしてワークショップをファシリテートしながら、地域で実施したヒアリング等各種調査の結果を踏まえた意見出しを行います。

◆ 間人ワークショップ「寄って たかって たいざ」について

<日 時> 令和4年12月11日（日） 14時～17時（13時45分開場）

<場 所> 丹後地域公民館大ホール（京丹後市丹後町間人2690番地1）

<内 容> 間人の未来の具体的な移住者像や地域の将来像を考えるワークショップ
※詳細については別紙、イベントチラシを参照

<対 象> 京丹後市の間人に関わる全ての方々 ※事前申し込み制（定員40名）

<申し込み> 電 話：0772-69-0714（丹後市民局）

メール：maruppotaiza@gmail.com

<主 催> 2022年度・同志社大学・プロジェクト科目

京丹後移住促進プロジェクト～新たな地方移住の仕組みづくり～

<イベントチラシ>

私たちは、間人が地域に住む人々からより愛される町になるためにはどうすれば良いのか、地域の皆さんと意見を交わしながら「間人の魅力再発見」「人とのつながり」をテーマに地域内での活動を行ってきました。地域の皆さんと関わる中で、「若い世代がもっと増えてほしい」などの声を耳にすることがありました。お聞きした声をもとに、将来の間人がよりよい町になるような移住促進を進めていきたいと思っています。

そこでまず今回は将来像として「10年後の間人の未来」を想像するワークショップを行います！

10年後の間人がどうなっていて欲しいですか？
「様々な世代の人がたくさん移住してきて」「お祭りが今以上に盛り上がっている」「世界中から間人に観光客がきている」など。楽しい未来を私たちと一緒に考えてみませんか？
ぜひお気軽にご参加ください！
お待ちしております。

70年後の間人ってどんなだろう？
地域に住む人はどんなふうに変わっていくのだろう？
間人のために移住者ってどんな人だろう？

寄って来たかいさ
間人の未来を考えるワークショップ

主催 / 2022年度 同志社大学 プロジェクト科目 京丹後移住促進プロジェクト
～新たな地方移住の仕組みづくり～

12/11 14:00-17:00 (13:45 開場)
丹後地域公民館 / 定員 40名

参加を希望される方は、下記のいずれかの方法で必ず事前にお申し込みください
間人区事務所 / 電話：0772-69-0714 (丹後市民局) / メール：maruppotaiza@gmail.com

12/9

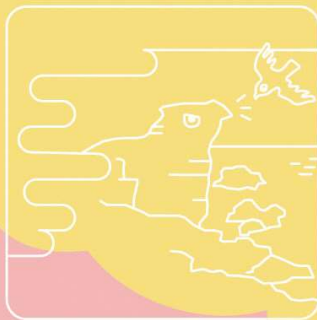
◆ 同志社大学プロジェクト科目について

同志社大学プロジェクト科目とは、従来の教室での座学中心の授業形態とは異なり、実践型・参加型の学習機会を重視した授業科目です。地域社会や企業の方々に講師をお願いし、提案されたテーマをプロジェクトとして、学生が主体的・自律的に学習を進めています。本プロジェクトでは、7名の学生が間人での移住の仕組みづくりに取り組んでいます。

お問い合わせ先

京丹後市役所市長公室政策企画課

TEL:0772-69-0120 FAX:0772-69-0901



私たちは、間人が地域に住む人々からより愛される町になるためにはどうすれば良いのか、地域の皆さんと意見を交わしながら「間人の魅力再発見」「人とのつながり」をテーマに地域内での活動を行ってきました。地域の皆さんと関わる中で、「若い世代がもっと増えてほしい」などの声を耳にすることがありました。お聞きした声をもとに、将来の間人がよりよい町になるような移住促進を進めていきたいと思っています。

そこでまず今回は将来像として「10年後の間人の未来」を想像するワークショップを行います！

10年後の間人がどうなっていて欲しいですか？
「様々な世代の人がたくさん移住してきている」「お祭りが今以上に盛り上がっている」「世界中から間人に観光客がきている」など、楽しい未来を私たちと一緒に考えてみませんか♪
ぜひお気軽にご参加ください！
お待ちしております。



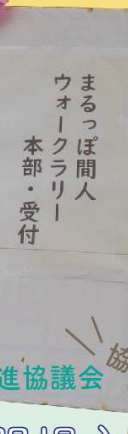
寄って たからって たいぞ

間人の未来を考えるワークショップ

10年後の間人って
どんなだろう

地域に住む人は
どんなふうに
変わっていくのだろう

間人の求める
移住者って
どんな人だろう？



主催

2022年度 同志社大学 プロジェクト科目 京丹後移住促進プロジェクト
～新たな地方移住の仕組みづくり～

まるっぽ間人プロジェクト推進協議会 協力

12/11



14:00-17:00 (13:45 開場)

丹後地域公民館 / 定員 40名

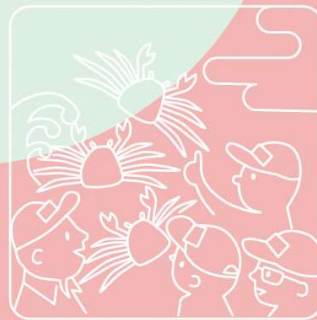
参加を希望される方は、下記のいずれかの方法で必ず事前にお申し込みください

間人区事務所 / 電話：0772-69-0714 (丹後市民局) / メール：maruppotaiza@gmail.com

申し込み締め切り

12/9

金曜日



私たちの紹介

同志社大学プロジェクト科目とは、従来の教室での座学中心の授業形態とは異なり、実践型・参加型の学習機会を重視した授業科目です。地域社会や企業の方々に講師をお願いし、提案されたテーマをプロジェクトとして、学生が主体的・自律的に学習を進めています。本科目は、学生7人（2年生5人、3年生1人、4年生1人）が地域の方と協力して間人での移住の仕組みづくりに取り組むプロジェクトです。2021年度の活動と、2022年度のこれまでの活動を踏まえ、私たちは「人づくり」をテーマに今年1年間活動を行っています。その中でも「地域コミュニティ」に着目し、より良い間人を目指し、地域の方と協力しながら活動していきたいと考えています。



これまでの活動

フィールドワーク（4月）

初めて間人を訪れ、間人の魅力にたくさん触れました。ここでは2021年度の成果報告会と、今後間人で取り組みたいことを考えるワークショップを実施しました。

ワークショップ（6月）

京丹後市や間人区の代表者との会議と、間人の住民の方々へのヒアリングを行いました。「人づくり」に関する仮説や、間人の理想のコミュニティへの住民の方の考えを伺いました。



ワークショップ（7月）

間人の未来の「人と人とのつながり」について考え、それを達成すべく地域で行いたいイベント案を考えました。



まるっぽ間人ウォークラリー（10月）

7月のワークショップで出た意見をもとに、間人の観光資源を生かして「キス料理」の提供と、地域の様々なおすすめスポットをめぐる「ウォークラリー」を開催しました！地域の方々とともに地域内を盛り上げることができ、非常に楽しいイベントとなりました。今後も続けていきたいという嬉しいお声もいただきました。

